

病院	東札幌病院
----	-------

[実習] 第3学年 前期 必修 臨床実習Ⅱ

《担当者名》○歯科口腔外科部長／水越 孝典 指導責任者 歯科衛生士／安田 友美

【概要】

顎顔面、口腔疾患をもつ患者に対し、身体的、精神的ケアを出来る様チームアプローチの一員としての自覚を持ってもらう。

【学修目標】

☆病院内衛生士として、他科看護師と対等にコミュニケーションがとれること。

☆歯だけを見る衛生士ではなく、全身の中の口腔疾患という目で患者をみれること。

☆衛生士の仕事はブラッシング指導だけと思わず、口腔機能の維持・改善に携わるものである。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	◎〈外来〉 1. 術後患者に対し 2. 新患に対し 3. 外来手術に対し ◎〈入院〉 ☆口腔外科入院患者 1. 口腔がん 2. 手術症例に対し 3. その他 ☆他科入院患者 1. がん 2. 嚥下障害患者	●患者の不安などに対し、適切な対応 ●的確なアナムネーゼ ●器具の準備、後片付け ●介助 ●薬の説明 ●がんの病態について ・がんの治療について ・がん患者の食事・生活指導 ・がん患者のメンタルケア（傾聴） ・がん患者の口腔ケア ・ホスピスケア ●手術、手技 ・術前・術後管理、ケア ・メンタルケア ●化学療法、放射線療法前からの口腔ケア ・ホスピス患者の口腔ケア、食事指導 ●口腔機能の評価 ・口腔機能リハビリテーションの適否 ・口腔機能リハビリテーションの実際	水越 孝典 安田 友美

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

◇知識・技術…診療の補助・介助を通して評価する。

◇実習態度…実習期間中の患者への応対・礼儀・言葉づかい・積極性を総合的に評価する。

◇身 装…清潔なユニフォーム、頭髪、手指。

上記項目について総合的に判断する。

【教科書】

「専門科目の教科書」

【参考書】

「臨床実習帳」

【学修の準備】

- ・口腔の仕組み（解剖・機能）について予習すること。
- ・摂食嚥下のメカニズムについて説明出来る様予習すること。
- ・与えられた課題についてレポートを作成すること。